

## 瑞浪市夢づくり地域交付金事業審査会説明次第

日時：令和元年9月12日（木）

場所：瑞浪市役所西分庁舎1F

説明：美濃源氏フォーラム

理事長 井澤康樹

### 1. 美濃源氏フォーラム設立の経緯

- ① 平成3年、瑞浪青年会議所理事長として第1回美濃源氏フォーラム開催
- ② 瑞浪市生涯学習事例発表事業
- ③ 岐阜県パイロットイベント表彰
- ④ 岐阜県芸術文化奨励事業受賞
- ⑤ その他

### 2. 現在開催中の事業の説明

- ① 美濃源氏土岐氏研究講座
- ② 土岐源氏明智光秀歴史講座
- ③ 武家文化歴史回廊講座
- ④ その他

### 3. 美濃源氏土岐氏研究講座&武家文化歴史回廊講座講義録の発刊と寄贈

- ① 1993年から1999年まで美濃源氏土岐氏研究講座講義録発刊
- ② 瑞浪市他の後援団体図書館などに寄贈
- ③ 2004年、当時の浩宮皇太子に講義録と資料集を岐阜県より献呈
- ④ 15周年記念事業として宮内庁羽毛田信吾長官紹介により東宮侍従あてに講師依頼状提出、日程調整困難としてお言葉を賜り参加者に紹介しました。
- ⑤ 2016年より途絶えていた研究講座を復活し講義録発刊を再開。
- ⑥ その他

### 4. 岐阜県博物館マイミュージアムギャラリー展示

- ① 2020年1月4日（土）～3月8日（日）  
テーマ「美濃源氏土岐氏一族と明智光秀」
- ② その他

### 5. 土岐源氏の歴史を活かしたまちづくり

- ① 日本料理みわ屋「高野城戦飯」プロデュース
- ② 鬼岩温泉了山「鬼退治伝説 明智光秀山城料理 天正十年徳川家康饗応膳」
- ③ 土岐源氏桔梗盃・明智光秀桔梗盃・明智光秀武者人形・光秀絵馬他
- ④ 明智光秀歴史ガイド養成講座
- ⑤ その他

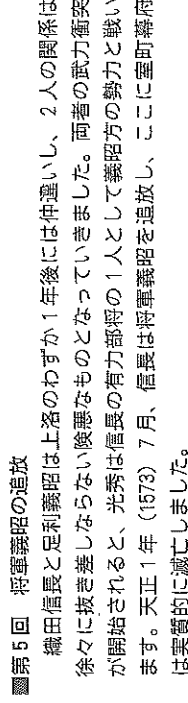
### 6. 今後の展開と効果

- ① 鎌倉市の年間観光客は約2000万人。瑞浪市の19号線と旧19号線、中央自動車道やJR東海の通過客は鎌倉以上であり、どの様にして人々を立ち止まらせることが可能かを提案しています。



2019年度美観向上フォーラム  
十枝源氏明智光秀歴史講座 全12回 (2019年度～2020年度)

「池田町屋の伝統文化と六斎市・上岐郡と春日井郡の狭間で」



皆さんが描く光秀の人物像とは、違ったものになるのでしょうか、それとも同じようなものになるのでしょうか。



## 美濃源氏フォーラム講義録発刊 東濃5市の図書館へ寄贈



講義録を東濃5市の図書館などに贈った井沢康樹理事長(中央)＝瑞浪市土岐町、市民図書館

中世美濃国に現れた美濃源氏土岐一族に関する郷土史研究グループの美濃源氏フォーラム(瑞浪市)は、2018年度講座の講義録を発刊した。瑞浪市で開いた「美濃源氏土岐氏研究」

岐阜市で開いた「武家文化歴史回廊」の2講座を収録している。

美濃源氏土岐氏研究は、全5回と、昨年8月の明智光秀シンポジウムの講演を収録した。武家文化歴史回

廊は全6回を収めた。明智光秀シンポジウムの講演録では、NHK2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の時代考証を務める静岡大名誉教授小和田哲男さんが「光秀研究の諸問題」と題して、織田信長に仕え

た豊臣秀吉と光秀について語っている。瑞浪市土岐町の市民図書館で贈呈式があり、井沢康樹理事長が平林道博瑞浪市教育長や恵那、土岐市の図書館関係者に講義録を2冊ずつ手渡した。

サイズはA4判で180ページ。550冊を発刊した。県や東濃5市の図書館などへ寄贈した。価格は1冊3千円。問い合わせは同フォーラム事務局、携帯電話090(5108)8374。(三輪真大)

れらも理解して欲しいですね。

## 10. 西池田の位置づけ

土岐成頼の子である一華院妙守が安国寺におり、足利尊氏が全国に安国寺を作らせ、それが美濃においては揖斐郡池田につくられていることや、その後は土岐頼忠開基で千葉東氏の平心処斎により開山となった禅蔵寺もあることから、何より革手城発掘では南北朝期の遺物が発見されないことから、揖斐郡内において南北朝期からの土岐氏の守護所を考える必要があり、以前から横山住雄氏が唱えておられた池田町の本郷城を守護所の比定地として、表面採取や発掘調査の必要を提起したいと思います。

## 11. 刀鍛冶と旧制岐阜中学

関の刀鍛冶の刀剣に、「濃州岐阜住具衛 大永元年八月日」という資料があることを関市在住で美濃源氏フォーラム会員の土岐邦彦氏からご教授頂きましたので資料として掲載してあります。大永元年は1521年ですから、当然1567年の織田信長が美濃に入国する以前に地名として岐阜が使われていた事を表わしています。

また、戦前の昭和十年に旧制岐阜中学の地歴研究会は、「岐阜」が土岐氏時代から使われたことを研究されており、当然に周の文王が岐山に興ったことや、孔子の故郷の曲阜についても取り上げていますが、土岐氏の府が岐阜であるとして発表されていることを、特に岐阜市民の方は理解して欲しいと思います。

## 12. 終わりに

天文21年(1552)に美濃を斎藤道三に追われた室町幕府最後の美濃守護土岐頼芸は、天正10(1582)年3月11日に武田勝頼が滅ぶと稲葉一鉄に引き取られ谷汲岐礼に8月に帰ってくることができました。12月に亡くなるまでの30年間は、正に国盗り物語の体験者であり、土岐頼芸が語る「土岐鷹の夢」を発刊し、斎藤道三親子二代の国盗りとして一代説を訂正、また岐阜の地名は土岐氏の時代に誕生を、また桔梗紋の由来や、本能寺の変の真相などなど、司馬遼太郎を凌ぐ原作によりNHK大河ドラマ原作を目指したいと思っています。

尚、美濃源氏フォーラム15周年に皇太子殿下の行啓をお願いした折に、美濃源氏土岐氏研究講座の講義録と資料集を

献本しましたところ、お言葉を頂戴し私から伝えるお許しを賜りましたので、これも記録に残したく読み上げますのでお聞きください。

## 美濃源氏15周年記念事業主旨説明、及び、皇太子殿下下浩宮様のお言葉

平成17年7月23日

<第15回美濃源氏フォーラム in 瑞浪の開催に際して理事長井澤康樹開会の挨拶>

本日、美濃源氏フォーラム15周年記念事業を開催できることになり、講師に先の全国知事会会長であり前岐阜県知事、また現在岐阜県顧問であります梶原拓様を始め、歴史研究者の方々7名を千葉県・埼玉県・東京都・京都府・三重県、そして岐阜県内よりお招きし、中世美濃の交通や流通・物流などについて考えるフォーラムと致しました。

美濃源氏フォーラムは、平成3年より新しい瑞浪の祭りを美濃源氏土岐一族の歴史を通して創るべく、瑞浪青年会議所の有志にて出発致しましたが、15周年を経て、瑞浪だけでなく岐阜市や揖斐郡大野町でも事務局を設置して歴史講座やシンポジウムを行っております。このような、民間の歴史検証活動ではありますが、美濃源氏土岐一族という不透明な歴史解明は、土岐一族発祥の地に留まらず、岐阜県はもとより日本の中世史の発展に少しでも寄与出来る様、又美濃源氏土岐一族の歴史を生かしたまちづくりとなるよう努めて参りました。

そんな中、昨年春に有り難くも宮内庁の羽毛田長官に面識を頂く事ができました。とても親しみのある方で、私どもが以前から抱いておりました夢を直ちにご相談申し上げた次第であります。それは、日本中世史の研究者である『皇太子殿下下浩宮様』に行啓賜り、美濃源氏フォーラムにご臨席賜れたら、というもので、叶う事なら研究発表としてご専門の『中世の交通史』について、それも『水軍や海賊などについて』お話を聞かせ頂けたら、という途方も無いものでした。

然し、羽毛田長官は、実は羽毛田様は昨年度まで次長職で、平成17年4月から宮内庁長官になられたのですが、なんと東宮侍従事務主管様をご紹介頂いたのであります。それから昨年末までに、15周年事業計画を策定し、東宮職へお計りを申し上げておりました所、この7月初めに侍従様からご連絡頂きましたが、結果については『皇太子殿下下浩宮様』からのお言葉として、わたくし井澤から伝えてよろしいとのことでありましたので、これから 皇太子殿下のお言葉として申し上げさせていただきます。

”この度は、美濃源氏フォーラムの作成した多くの講義録や資料を頂き感謝します。そして、中世交通史の研究者として15周年記念事業の御案内を頂きましたが、参加できず残念です。この催しには、知合いの方が講師として参加されますし、梶原拓先の全国知事会会長の記念講演もありますので、この事業が盛会に開催されますことを願っております。”

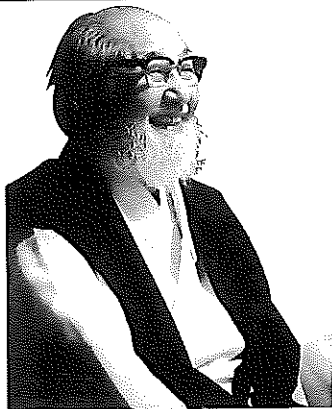
以上です。

このようなことは、民間の事業には殆ど例のないことで、大変名誉なこととなりました。

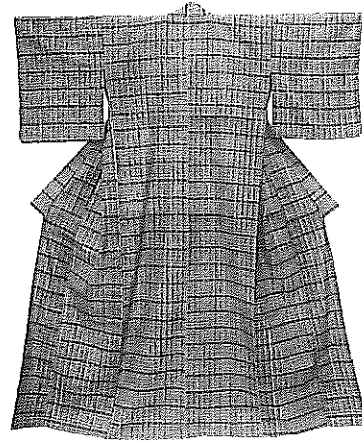
つきましては、日本史学会には流通や物流に関する先達の研究者が金字塔の如く多々あることは承知していますが、市民活動が醸成され行政との協働の中で「郷土史研究」が芽吹いていくことを願い、ここに美濃源氏フォーラム15周年記念事業『再考、美濃の中世社会—東西文化の結節点、蠢きまわるモノやヒトたち』を開催致します。



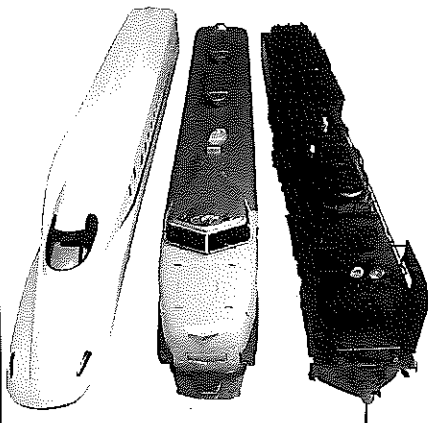
# 岐阜県博物館 マイミュージアムギャラリー 2019



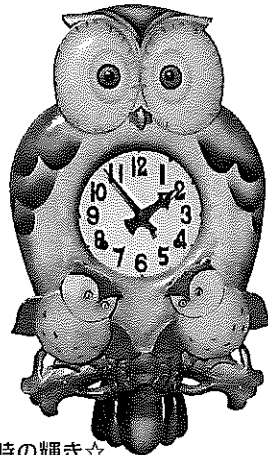
**1** 《久松真一記念館・抱石庵移動展》  
「知の巨人」久松真一  
『禅と芸術』の世界  
出展者 久松真一記念館(抱石庵)  
2019年4月20日[土]～5月19日



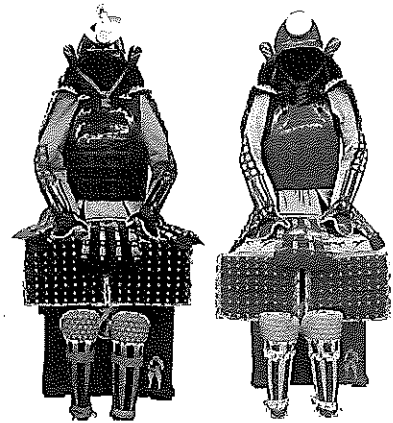
**2** 美濃織展  
—江戸時代に想いをつなぐ 手紡ぎ手織りの絹木綿—  
出展者 美濃織伝承会  
2019年6月22日[土]～7月21日



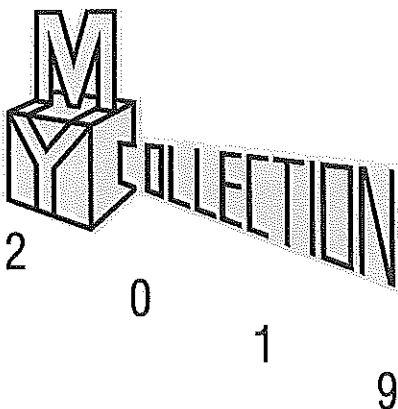
**3** 鉄道模型で見る  
昭和から平成、そして未来へ  
出展者 岐阜鉄道模型クラブ  
2019年8月3日[土]～9月1日



**4** ☆時の輝き☆  
からくり・おもしろ古時計展 Part2  
出展者 下村 洋一  
2019年9月14日[土]～10月20日



**5** 関藩主大嶋雲八と現代甲冑展  
出展者 関市甲冑製作同好会  
美濃国関孫六隊  
2019年11月2日[土]～12月22日



**6** 美濃源氏土岐一族と明智光秀  
出展者 美濃源氏フォーラム  
2020年1月4日[土]～3月8日

県民のコレクションや作品を  
展示しています。 観覧無料

マイミュージアムギャラリーは岐阜県にゆかりのある方々のコ  
レクションの紹介や生涯学習の成果発表の場で、出展者自身が  
企画・展示を行っています。  
マイミュージアムギャラリーへの出展および観覧は無料です。

休館日：月曜日  
[月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日]  
年末年始 12月29日[日]～翌年1月3日[金]  
※ゴールデンウィーク  
4月27日[土]～5月6日[月]は開館



GIFU PREFECTURAL MUSEUM

**岐阜県博物館**

〒501-3941 岐阜県岐阜市小坂町1-989(岐阜県百年公園内) TEL.0575-28-3111 FAX.0575-28-3110  
http://www.gifu-kenpaku.jp

GIFU PREFECTURAL MUSEUM

**MY MUSEUM**  
**GALLERY**

1989 OYANA SEKI GIFU, 501-3941 TEL.0575-28-3111 FAX.0575-28-3110

こうのじょういくさめし

## 高野城 戦飯

謹製 日本料理みわ屋

陶器 (有)桜山 渡辺恒光社長

膳紙 (株)広瀬企画 広瀬社長

酒類 (株)キリンビール岐阜支社担当 高木さん

Produce 美濃源氏フォーラム事務局本部 井澤康樹理事長

### 「高野城 戦飯」への経緯

5月27日(月)美濃源氏フォーラム井澤が「みわ屋」へ会食で伺った際に、三輪晴二社長へ大河ドラマ「麒麟がくる」の放映で明智光秀に注目が集まる事となるので他店では既に取り組みが始まっているが「みわ屋」でもどうかと。それに対して、即答で取り組みたいので指導をお願いしたいと快諾。

すると、5月29日(水)に双子の息子さんから社長との話を進めたいので面会希望を承け即日に面談し、私の意図する所を話して検討されることになりました。

その後、6月5日(水)「みわ屋」の板長が検討されたメニューを拝見し、また味見をさせて頂き、今後の必要なネーミングと食器と料理の工夫を指摘。特に、8月3日(土)には「第29回美濃源氏フォーラムー明智光秀シンポジウム」が開催されるので、その講師陣や「鎌倉幕府御家人源土岐三郎光衡公」のブロンズ像製作に関わる方、そして美濃源氏フォーラムの役員の懇親会での披露とし、高野城や明智光秀を偲ぶため、そして何より観光客の方々に楽しんで貰える料理として発表しますので宜しくお願い申し上げます。

そのため、7月18日(木)にマスコミ関係者と観光政策関係者にお集まり頂きプレス発表と試食会としました。

### 明智光秀について

美濃源氏土岐氏一族の出自と言われ、室町幕府の禁裏御倉職だった「立入宗継」の記録に「ときの随分衆」と書かれており、系図では様々な系譜が広まり何処で産まれたか、また明智城がどこであったか特定出来てはいません。然し、何れも土岐氏の系譜を引くことであり、正に土岐氏一族発祥地が明智光秀の遠祖の地と言えます。

### 水色桔梗紋について

明智光秀の「水色桔梗」は現代まで「本能寺の変」の場面の度に取上げられましたので、桔梗と言えば明智光秀と連想するまでになりました。然し、元々美濃源氏土岐氏一族が使用した「桔梗紋」がルーツです。鎌倉幕府御家人となって土岐郡を支配、源土岐三郎光衡が合戦の折に野に咲いていた桔梗の花を手折って兜に挿し戦い勝利し、その故事から土岐氏の家紋となりました。今では瑞浪市・土岐市・多治見市の旧土岐郡揃って「市の花」に採用しています。

こうのじょういくさめし

## 高野城 戦飯

高野城とは、戦国時代の土岐郡東部で使われた山城で、当時の地域名から神籠城(こうのじょう)とも呼ばれましたが、「信長公記」の天正十(1582)年二月十三日の条に記録が残りました。現在は、「鶴ヶ城」として瑞浪市民や歴史愛好家には親しまれていますし、土岐町鶴城として地名も残りました。元々、高野城は鎌倉時代に源頼朝の御家人となって土岐氏の祖であり、また桔梗紋を初めて使い始めたと言われる土岐光衡、そして正中元(1324)年の「正中の変」に登場する土岐頼貞と十男頼兼、彼ら土岐氏の詰めの城と伝承されてきました。

そんな高野城を、織田信長が武田信玄との戦いに備えて天正二(1574)年河尻秀隆に城番を命じており、当然の如く増強されたような痕跡が城の東側に見られ、現在「天神山城」、「裏天神山(尾賀山)城」として研究が始まりました。

さて、その歴史の一端とは織田信長が都において天正十(1582)年二月九日、信濃国武田への進軍の軍令を發布し、明智光秀にも出陣を命じました。三月五日に信長は京を出陣し八日には岐阜を出て犬山まで進み九日には可児郡金山、そして十日は高野城に布陣しています。その時、信長と光秀が本丸から遥か東の甲州を観ながら武田氏に対して如何なる想いだったか。特に、「本能寺の変」に至る三ヶ月ほど前であり、光秀が土岐氏の居城において先祖を偲びどんな胸中であつたか、思い描いて頂きたいと思います。

武田勝頼が三月十一日に滅ぶと、匿われていた牢人の中に天文二十一(1552)年に斎藤道三に美濃を追われた室町幕府最後の美濃守護土岐頼芸(ときよりのり)も現れましたから、光秀と武田氏との交渉の中でひょっとすると美濃守頼芸と土岐一族光秀の二人の中で「暗黙の了解」があつたと考えるのは、果たして・・・。

歴史のロマンを、この「高野城 戦飯」で感じて頂けたら幸いです。

謹製 日本料理 みわ屋  
Produce 美濃源氏フォーラム

鬼退治伝説  
明智光秀山城料理  
復活！天正十年五月、徳川家康饗応膳

令和元年8月2日（金）18時30分

鬼岩温泉 了山 高木祐司

企画監修 美味求身 河田容英

Produce 美濃源氏フォーラム

御席

接待 了山女将 了山若女将

勝 瑞浪副市長 渡辺 御嵩町長 小和田哲男 河田容英 井澤康樹

|         |       |                |
|---------|-------|----------------|
| 瑞浪市商工課  | 小木曾課長 | 御嵩町まちづくり課 各務課長 |
| 瑞浪市商工課  | 磯貝    | 御嵩町企画課秘書広報係 井戸 |
| 瑞浪市企画課  | 奥谷    | 御嵩町観光協会事務局 加藤  |
| 瑞浪商工会議所 | 橋本    | 中日新聞 斎藤        |
| 瑞浪市観光協会 | 伊藤    | 岐阜新聞 三輪        |
| 毎日新聞    | 立松    | 東濃新報社 小林       |
| 読売新聞    | 市来    | 東濃ニュース 杉村      |

高木祐司社長・安藤板長

次第

司会 井澤康樹

18時30分 参加者紹介と経緯について 井澤康樹  
18時35分 企画監修 河田容英氏  
18時45分 明智光秀山城料理について 高木祐司社長  
18時50分 安藤板長  
18時55分 鬼退治伝説について説明 井澤康樹  
19時00分 会食  
20時00分 参加者感想と今後の展開方法  
20時30分 閉宴

明智光秀は清和天皇を祖とする土岐源氏です。

それは、平安時代末期に源氏が美濃に入国し美濃源氏となり、その中には多くの源氏がありましたが鎌倉幕府御家人となって「土岐郡」を統治し姓氏として土岐氏が発祥、源土岐三郎光衡が誕生しました。

この土岐光衡が、ある戦いで兜に桔梗の花を手折って兜に挿して勝利をおさめたことから桔梗紋を土岐氏の定紋としました。

明智光秀は、このような土岐一族ですし、水色桔梗も引き継いでいます。

さて、清和天皇から続く源氏の中には源頼朝を始めとして足利氏、武田氏、新田氏、木曾氏、大内氏、佐竹氏などの有名な武士団が誕生しており、土岐氏も同様に浅野氏、市原氏、小里氏、下石氏、多治見氏、妻木氏、肥田氏、猿子氏を始めとして120家に分派して全国に名をなした一族でした。

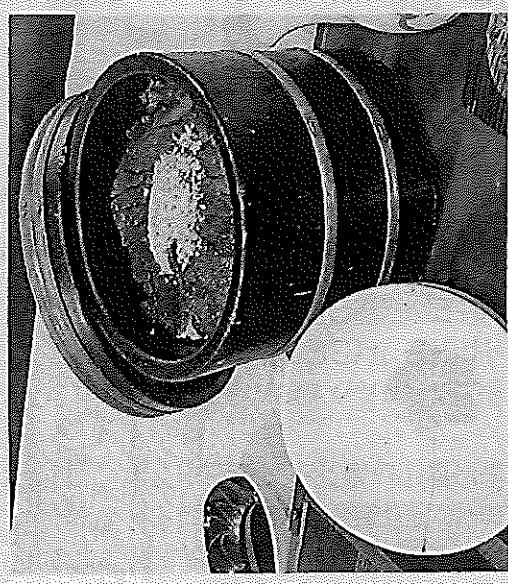
そんな清和源氏の活躍として、源頼光が大江山の酒吞童子である鬼退治をした伝説や、源頼政が紫宸殿の上に夜な夜な現れるヌエを退治したことも同様に鬼退治伝説として、鎌倉や室町に江戸幕府の草創期に源氏の活躍として広く伝わってきました。鎌倉幕府以後、北条執権の打倒を企てた後鳥羽院の承久の変（1221）においても土岐光時は宮方に仕えましたし、やはり後醍醐天皇討幕を企てた正中の変（1324）には土岐頼兼が馳せ参じています。

何より、土岐源氏明智光秀も織田信長を本能寺の変（1582）において誅することになりますが、暦を変えてしまう信長、そして安土城においては最上階の天主の間の下に正親町天皇を迎える謁見の間をこしらえていた信長、そんな天皇家への越権行為を憚らない信長を、光秀がまさに退治したようにも見えてきます。

もともと、可児郡御嵩町鬼岩においても鬼退治の伝説が残っていますし、瑞浪市においては土岐源氏と桔梗紋の発祥地ですので、郡境を擁する鬼岩温泉了山が待ち望んだ「鬼退治伝説 明智光秀山城料理 天正十年五月、徳川家康饗応膳」を復活させることになりましたので、この地を訪れる皆様に約440年前の時代を遡って頂き、料理とともにその歴史を堪能して頂きたく、ここに初披露させていただきます。

# 瑞浪 みわ屋が「牛真武士」来月から

## いざ大河！ 光秀の戦飯



⑨メイン料理の「牛真武士」と、金色の桔梗紋が入った茶わん ⑩完成した「高野城 戦飯」を披露する井沢さん(左)と瑞浪市土岐町のみわ屋で

### 器に桔梗紋「地元アピール」

戦国武将の明智光秀が主人公となるNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を来年に控え、瑞浪市土岐町の料理店「みわ屋」は、光秀をモチーフにした特別メニュー「高野城 戦飯」を開発した。戦国時代の食文化や、光秀の桔梗紋を取り入れた献立で、八月から提供する。(斎藤航輝)

みわ屋は、刻んだ飛騨牛をひつまぶしのように薬味を加えたり、だしをかけたりして食べる「牛まぶし」が名物。大河ドラマにあやかり、牛まぶしを全国の人に味わってもらおうと、郷土史研究団体「美濃源氏ウォーク」(同市)の井沢康樹理事長から助言を受けて考案した。

献立は「牛まぶし」を「牛真武士」ともじってメイン料理にした。漬け込み、焼き、仕上げで三種類のたれを使い分け、赤

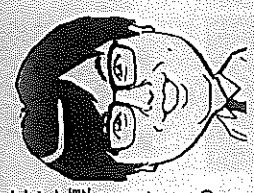
身のちも肉を味付けした。まき芋の根の粉末入りのたれに漬けた、込んだ鶏肉のネギみそ焼きや、戦国時代の携帯食として知られる「兵糧丸」をイメージしたあんかけなど四品の小鉢もある。甘味は甲州名物のアドウを使った寒天で、「甲州を食らう」との意味を込めた。

金色の桔梗紋が入った小鉢と茶わんは、同市土岐町の陶磁器メーカー桜山が制作。メニューは光秀ゆかりの地元の城跡、高野城(鶴ヶ城)から名付けた。

同店の三禮隆一社長は「地元を盛り上げて瑞浪をアピールし、心からおもてなししたい」と意気込む。井沢さんも「料理と歴史を一緒に楽しんでほしい」と呼び掛けている。

販売は八月十三日から。一食三千二百四十円。⑨みわ屋 0572 (68) 3388

### 記者の#つばき



記者も試食させていただき、味とボリュームに心を打たれました。「腹が減っては戦はできぬ」といいますが、光秀もこの戦飯を食べていたら、歴史は変わっていたかもしれません。

## 東濃新報

2019年(令和元年)8月16日(金)

### 鬼伝説の地で家康の饗応膳

美濃源氏フォーラム 御嵩・了山で披露

明智光秀が織田信長の命を受け、徳川家康をもてなした「饗応膳」を再

現した山城料理がこのほど、御嵩町次月の鬼岩温泉の料理旅館「了山」で初披露された。献立をプロデュースしたのは料理研究家の河田容英さん(四十九歳)。美濃源氏フォーラム(同市寺河戸町、井澤康樹理

事長)が「徳川家康饗応膳」の復活を計画した。天皇家に対し、さまざま「越権行為」をしていたとされる信長を「鬼」に見立て、家康の接待を命じられた饗応膳に込めた光秀の思いを表現する



饗応膳を披露する高木社長ら

とともに、地元の鬼岩公園の「関の太郎」にまつわる「鬼退治伝説」と重ね合わせた料理を創作しようと依頼した。料理の創作は同旅館の安藤和範料理長が担当した。

全国から取り寄せた山海の珍味を満載した豪華メニューで、試食会には両市町の関係者のほか、来年一月から始まるNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の時代考証を担当している静岡大学名誉教授の小和田哲男さんが招かれ、約二十人が約四百四十年前の「接待料理」を堪能した。料理の問い合わせは、同旅館(電話〇五七四一六七〇二八八)まで。

## 東濃新報

2019年(令和元年)7月19日(金)

(第三種郵便物認可)

### 光秀の「接待料理」開発へ

美濃源氏フォーラム 河田容英さん了山で講演

「美味求真」は、貴族院議員などを務めた美食家、木下謙次郎(二八六九―一九四七)が出版した著書で、現

代にも通じる食文化に對する鋭い考察や深い知識がつづられている。河田さんは留学支援事業を展開する「ログウィクス」を経営しつつ、歴史的考証を基礎として料理の研究と再現に取り組んでいる。

今回は、光秀にちなんだ料理を生み出すのが目的。天正十(一五八二)年五月十五日、織田信長が武田を滅ぼした祝勝会に徳川家康を招き、光秀にもてなした命じた際の一泊二日、四回分の料理献立の中から「おちつき膳」のレシピを、現代版「もてなし膳」として復活させようという試み。了山関係料理の説明をする河田さん

美濃源氏フォーラム(井澤康樹理事長)は、先ごろ、明智光秀にちなんだ料理を開発するため、「美味求真」の研究家で料理研究家河田容英さん(ログウィクス代表取締役)を講師に招き、御嵩町の旅館「了山」で料理長らを対象にした勉強会を開いた。

「美味求真」は、貴族院議員などを務めた美食家、木下謙次郎(二八六九―一九四七)が出版した著書で、現代にも通じる食文化に對する鋭い考察や深い知識がつづられている。河田さんは留学支援事業を展開する「ログウィクス」を経営しつつ、歴史的考証を基礎として料理の研究と再現に取り組んでいる。今回は、光秀にちなんだ料理を生み出すのが目的。天正十(一五八二)年五月十五日、織田信長が武田を滅ぼした祝勝会に徳川家康を招き、光秀にもてなした命じた際の一泊二日、四回分の料理献立の中から「おちつき膳」のレシピを、現代版「もてなし膳」として復活させようという試み。了山関係料理の説明をする河田さん





明智光秀公ゆかりの商品で  
瑞浪の地場産業を発信

## 第1回『美濃源氏土岐一族と明智光秀』

日時：平成31年4月21日(日)

13時30分～16時45分

場所：一日市場八幡神社社務所

講義：美濃源氏フォーラム

理事長 井澤康樹

### 1. はじめに

- ① NHK大河ドラマ「麒麟がくる」発表は2018年4月19日、小和田哲男氏からの協力要請が4月22日に入り、昨年8月4日(土)明智光秀シンポジウム開催し、本年も8月3日(土)に「戦国大名斎藤氏三代と明智光秀」を開催します。
- ② 瑞浪市の登場場面としては、明智光秀は美濃源氏土岐氏一族の土岐明智氏である。
- ③ 天正10年(1582)2月、織田信長と明智光秀が武田氏甲州攻めのために、高野(こうの)城[現在の鶴ヶ城]に在陣したことから、鶴ヶ城だけでなく最近発見された天神山城と裏天神山城(仮：尾賀山城)を小和田先生に紹介し、“なかなか遺構がよく残っていますね”のコメントを貰いました。
- ④ 『岐阜』の呼称は織田信長が初めて使用したわけではなく、1467年の応仁の乱を避けて美濃に逗留し庇護された禅僧『東陽英朝(とうようえいちょう)・万里集九(ばんりしゅうく)』等が五山文学の中で使用しており、土岐氏の支配する岐蘇川(木曾川)の北側の都を岐陽とし、そのなかに聳える山々を岐山や岐阜と称してきた。
- ⑤ 天正10年3月11日、武田勝頼が滅ぶと、信玄の時代から抱えていた牢人達が放免されることとなり、土岐頼芸は旧臣稲葉一鉄、元岩倉城主織田信賢も旧臣山内一豊が引取り、その他の犬山城主織田信清や近江の六角氏大原高盛なども現れ、上洛のために美濃・犬山・岩倉・近江のルート of 負け組の将を集めていたわけであり、これらの牢人を出さないことから、信長による恵林寺での快川紹喜禅師らの焼き討ちとなった。  
この交渉の中で、土岐頼芸と明智光秀の接触の可能性は、本能寺の変の遠因か？  
土岐頼芸(よりのり)は1552年に美濃を斎藤道三に盗られて追い出されてから、30年放浪し、1582年8月に揖斐の谷汲岐礼へ戻ることができた。  
仮に、武田信玄が上洛し信長を倒した暁には土岐頼芸は美濃国主として戻れた。
- ⑥ 1350年代に土岐明智氏の祖となる土岐頼基が足利尊氏から宛がわれた中に、明智または明知は含まれず、土岐氏の分派として発祥した理由が謎となっている。  
現在美濃源氏フォーラムでは、土岐川下流域における春日井市坂下町明知と土岐明智氏の頼高が開基した瀬戸の定光寺や、土岐長山遠江守頼元開基の良福寺(位牌あり)、また守山区上志段味の天白元屋敷遺跡や海東遺跡により、土岐明智氏拠点と比定しており、明智光秀が登場するのは1528年頃となり約200年後となる。

- ⑦ 可児市では、長年にわたり明智城は長山城だとされ、また土岐明智氏の発祥地として喧伝されてきたが、長山城は山城の遺構が見いだせないとされた。  
現在は、生誕の地と明智一族の墓所などを、アピールしている。
- ⑧ 恵那市明智町では、明知であった地名を明智光秀政策のために明智町と変更したものの、明知鉄道とか銀行の明知支店は従来通りに残されている。今年から、可児市の長山城が山城に否定されたことにより、明知城についても学術的な見地から同様なことになることを懸念されてか最近トーンが下がってきたとのマスコミの見解。
- ⑨ 山県市美山は、土岐頼遠が逃げ落ちて続き、その後の土岐氏子孫に光秀が誕生し、山崎の合戦以後の農民による落ち武者狩は影武者で生き延び荒深姓に名乗り換え、その後徳川家康に仕えるために出征したものの川の大水で亡くなったとの伝承。
- ⑩ 大垣市上石津の多良でも、明智光秀誕生の系図が(宮城家明智一族相伝系図書)があり、旧の上石津郡で取り上げられてきた。然し、土岐明智氏が宛がわれた多芸郡のことや、また土岐明智氏の本流であった群馬県沼田班 3 万 5 千石藩主土岐頼稔の祖となる土岐明智定政が出生地となっているものの、この研究が殆どされていない。
- ⑪ 岐阜市では、大河ドラマ館を可児市や恵那市同様に設置し、従来からの織田信と斎藤道三、そして息子の義龍と孫の龍興との関係を中心として明智光秀との関連を取上げていくことになり、そのアドバイザー委員には谷口研語氏も就任している。
- ⑫ 瑞浪市での展開は、美濃源氏フォーラムの明智光秀研究部会が独立し明智光秀研究会を設置し活動。その後、明智光秀顕彰会へ設立意向でしたが、滋賀県大津市西教寺に光秀公の妻熙子と家臣の墓所があることから光秀公らの供養を明智光秀公顕彰会として 15 年以上続けていましたので、瑞浪明智光秀公顕彰会に改名し毎年供養を進めてこられました。その際、明智光秀土岐町誕生説により石像を設置しましたが、岸和田市本徳寺の明智光秀公像の肖像を元にされたものの、本徳寺の許可をとられておらず現在まで推移したため、今回美濃源氏フォーラムより正式に依頼し了解を賜りました。その後、会員の減少により平成 29 年末に解散されましたが、30 年 4 月に大河ドラマ決定となったことから、再度研究会を復活され現在に至っています。
- 明智光秀公ゆかりの地連絡協議会(会長：亀岡市観光協会会長・副会長：福知山市明智光秀公研究会・美濃源氏フォーラム井澤康樹)が瑞浪市において 2013 年 8 月 10 日に開催されるにあたり、不明確な光秀誕生説には一線を画し確定的な一次史料が見つかるまでは瑞浪市は誕生説をとらず、あくまで土岐氏発祥地と桔梗紋の由来の地であり明智光秀公の先祖の地であることを喧伝していくことで合意し大会を誘致。
- その後、大河ドラマ決定時においても再度確認し、また『鎌倉幕府御家人 源土岐三郎光衡公ブロンズ像』の設置に際し、現在の文面に対して専門の研究者であられる小和田哲男先生や谷口研語先生がどの様に評価されるか今まで大変気にしていたこともあり、今回のブロンズ像製作にさいしてホットしたところもあるとの見解。
- 尚、「産湯の井戸」の持ち主も、井戸の変遷の記録を見て、外に出したくないと。

明智光秀語り部ガイド養成講座

第2回『美濃源氏土岐一族と明智光秀』

日時：平成31年6月23日(日)

13時30分～16時45分

場所：一日市場八幡神社社務所

講義：美濃源氏フォーラム

理事長 井澤康樹

1. はじめに

- ① 恵那市での小和田哲男氏講演内容について
- ② 可児市での小和田哲男氏講演内容について
- ③ 恵那市観光協会での谷口研語氏講演内容について
- ④ ブロンズ像の募金状況
- ⑤ 瑞浪市商工課との対応について
- ⑥ 鬼岩温泉了山とみわ屋の光秀料理について
- ⑦ 大河ドラマ配役決定に妻木熙子決定
- ⑧ その他

2. 前回の復習

- ① 土岐一族についての紹介
- ② 土岐一族の分派の土岐明智氏と明智光秀
- ③ 土岐氏を最初に名乗ったのは
- ④ 桔梗の花を手折って兜に挿した故事について
- ⑤ 土岐明智氏誕生後200年ほど経過して明智光秀誕生
- ⑥ 明智光秀誕生地伝説
- ⑦ 明智城の候補地と伝説について

3. ガイドタイム

4. 今回のテーマ

- ① 戦国大名斎藤氏三代と明智光秀 - 斎藤道三・斎藤義龍・斎藤龍興
- ② 越前と美濃、朝倉氏と土岐氏そして明智光秀
- ③ 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館特別展7月3日まで開催中
- ④ 8月3日(土)同館学芸員石川美咲氏が明智光秀シンポジウムに登壇
- ⑤ その他

5. おわりに

## 明智光秀歴史ガイド養成講座

### 第3回『明智光秀の生誕地伝説について』

日時：令和元年8月18日(日)

13時30分～16時45分

場所：一日市場八幡神社社務所

講義：美濃源氏フォーラム

理事長 井澤康樹

#### 1. はじめに

- ① ブロンズ像の募金状況 425万円 締切11月30日
- ② 鬼岩温泉了山「鬼退治伝説 明智光秀山城料理 天正十年徳川家康饗応膳」発表8/2
- ③ 日本料理みわ屋「高野城戦飯（こうのじょう いくさめし）」発表8/3
- ④ ガラシャ子孫の細川珠生女史案内：細川忠興と明智光秀また古田織部の講演依頼
- ⑤ 大垣市上石津多良と揖斐郡池田町禅蔵寺・揖斐川町瑞巖寺と法雲寺と土岐頼芸墓所
- ⑥ 群馬県立歴史博物館と沼田市歴史資料館訪問しマイミュージアム展示依頼と下見
- ⑦ その他

#### 2. 前回の復習

- ① 戦国大名斎藤氏三代と明智光秀・斎藤道三・斎藤義龍・斎藤龍興
- ② 斎藤道三について
- ③ 斎藤義龍について
- ④ 斎藤龍興について
- ⑤ 大垣市上石津多良と揖斐郡池田町禅蔵寺・揖斐川町瑞巖寺と法雲寺と土岐頼芸墓所
- ⑥ その他

#### 3. 今回のテーマ

- ① 土岐明智氏の安堵された地域と明智光秀伝説について
- ② 明智光秀誕生地伝説
- ③ 明智城の候補地と伝説について
- ④ 将軍追放後の織田政権
- ⑤ その他

#### 4. ガイドタイム

#### 5. 土岐光衡公ブロンズ像9月5日(木)除幕式について

6. 9月勉強会日程について 9月22日(日)又は9月29日(日)苗木で9/14(土)

7. 10月養成講座について 10月27日(日)13時30分～

8. 11月研修会について 11月2日(土)～3日(日)沼田市と吉井藩と富岡製糸場

9. 11月勉強会について 11/17(日)または11/24(日)

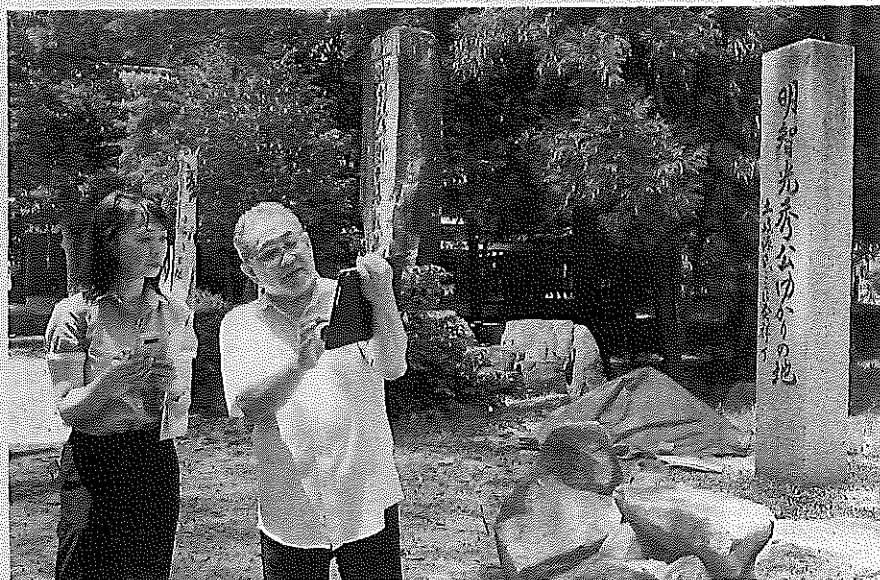
#### 10. 連絡事項

11. 結び：元岐阜県議会議長宮嶋氏面会のため来訪、6月初めから土岐源氏の勉強開始

美濃源氏土岐一族とされる戦国武将明智光秀の娘、細川ガラシャの子孫で政治ジャーナリストの細川珠生さん(51)＝東京都＝が、瑞浪、恵那、土岐市にある土岐一族ゆかりの地を訪ねた。  
(野中準二)

井澤康樹さんから解説を受ける細川珠生さん(左)＝瑞浪市土岐町、一日市場八幡神社

## ガラシャの子孫・珠生さん



# 土岐一族のルーツ探る

一日市場八幡神社や崇禪寺 11カ所訪問

細川さんはキリスト教カトリック信者で洗礼名は先祖と同じくガラシャ。土岐一族にまつわる郷土史を研究する美濃源氏フォーラム(瑞浪市)理事長の井澤康樹さんと交流があり、ゆかりの地訪問が実現した。

井澤さんの案内で、土岐一族の始祖とされる土岐光衡が館を構えた一日市場八幡神社(瑞浪市土岐町)や、光秀の妻熙子の出身とされる妻木氏の菩提寺の崇禪寺(土岐市妻木町)をはじめ11カ所を巡り、解説を受けた。

細川さんは「一族のルーツを深く知るいい機会になった」と語り、来年放送される光秀が主人公のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」について、「光秀は反逆者のイメージで語られがちだが、ドラマで歴史の見方が多面的になるのでは」と期待を込めた。

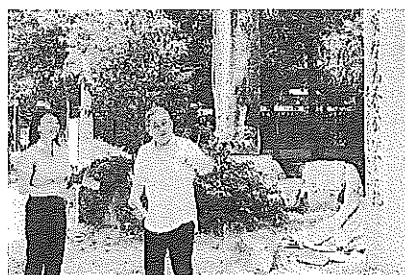
## 光秀ゆかりの史跡など探訪

美濃源氏フォーラム ガラシャの遠戚細川さん案内

七月二十五日、明智光秀にゆかりのある瑞浪市と

## 東 濃 新 報

2019年(令和元年)8月2日(金)



光秀の史跡を見学する細川さん

恵那市、土岐市を訪ねて史跡などを見学した。美濃源氏フォーラム(井澤康樹理事長)の招きで訪れた。瑞浪市では土岐町の土岐氏累代供養

塔をはじめ、鶴ヶ城跡、土岐光衡公発祥地である「一日市場館」などを巡った。一日市場館では井澤理事長が、現在制作中の光秀のブロンズ像について説明。カトリック教徒で「ガラシャ」の洗礼名を持つ細川さんは「細川ガラシャの父として光秀を見てきた。私自身父を見るような感覚もあり、歴史の主人公として熱い思いを持っている」などと話した。